研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-820	A-139	20-083	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

The relationship between alcohol consumption and knee osteoarthritis in Korean population over 50 years-old: Results from Korea National Health and Nutrition Examination Survey
50 歳以上の韓国人集団におけるアルコール消費と膝変形性関節症との関係：韓国国民健康栄養調査の結果

執筆者

Kim SK, Bae J, Choe JY.

掲載誌

Medicine (Baltimore). 2021 Feb 12;100(6):e24746.
doi：10.1097/MD.0000000000024746.

キーワード	PMID
アルコール、Kellgren–Lawrence grade、膝、変形性膝関節症、X 線撮影	33578626

要　旨

目的：アルコール摂取と変形性関節症（OA）との関連については未だ議論の余地がある。本研究では、韓国人のアルコール消費量と膝 OA との関連を検討した。
方法：2012 年の韓国国民健康栄養調査（KNHANES）に参加した 8,058 人のうち、50 歳以上で単純 X 線撮影を行い、飲酒に関するデータのある 2,917 人を分析対象とした。膝 OA の重症度は、Kellgren-Lawrence grade（K-L 分類）に基づき、両膝関節の X 線写真から評価した。また、1 日平均飲酒量（g/日）は、食物摂取頻度調査を用いて過去 1 年間の飲料種別平均飲酒頻度と杯数より推定した。学歴、婚姻状況、喫煙状況、定期的な運動、BMI（kg/m²）、収縮期血圧（mmHg）、空腹時血糖（mg/dL）、中性脂肪値（mg/dL）、総エネルギー摂取量（kcal/日）で調整し、多変量ロジスティック回帰分析を用いて、飲酒状況別に膝 OA（K-L 分類≧2）のオッズ比（OR）と 95%信頼区間（CI）を算出した。
結果：1,022 名（29.2%）が膝 OA であった。膝 OA の対象者は、膝 OA のない対象者に比べ、平均飲酒量が少なかった（10.4 g/日, 95%信頼区間 [CI]: 6.2-14.6 g/日 vs. 15.8 g/日, 95%CI: 2.8-18.8 g/日，P = 0.04）。飲料種別では、膝 OA の対象者は、膝 OA のない対象者よりも、マッコリの摂取量（g/日）が少なかった（P = 0.002）。ビール摂取量が 0.6g/日以上の対象者は、0.6g/日未満の対象者よりも、膝 OA のリスクが低かった（OR: 0.68，95% CI: 0.46-0.99）。しかし、膝 OA は、総アルコール摂取量（g/日）、焼酎摂取量　（g/日）、マッコリ摂取量　（g/日）と関連を認めなかった。
結論：韓国人集団において、ビールの消費量は膝 OA 有病率と負の関連がみられた。この予備的観察は、今後さらに研究する必要がある。